

長野県歌「信濃の国」 浅井 洌 作詞

- 1 信濃の国は ^{じっしゅう}十州に ^{さかいつら}境連ぬる 国にして
^{そび}聳ゆる山は いや高く 流るる川は いや遠し
 松本 伊那 佐久 善光寺 四つの平は 肥沃の地
 海こそなけれ 物さわに ^{よろ}万ず足らわぬ 事ぞなき
- 2 ^{よも}四方に ^{そび}聳ゆる 山々は ^{おんたけ}御獄 ^{のりくら}乗鞍 ^{こまがたけ}駒ヶ岳
^{あさま}浅間は殊に 活火山 ^{しず}いずれも国の 鎮めなり
 流れ淀まず ^{さいがわ}ゆく水は 北に犀川 ^{ちくまがわ}千曲川
 南に木曾川 ^{てんりゅうがわ}天竜川 ^{かた}これまた国の 固めなり
- 3 木曾の谷には ^{まきしげ}真木茂り ^{うみ}諏訪の湖には ^{うお}魚多し
^{たみ}民のかせぎも 豊かにて ^{ごこく}五穀の実らぬ 里やある
 しかのみならず 桑とりて ^{こが}蚕飼いの業の ^{わざ}打ちひらけ
 細きよすがも 軽からぬ 国の命を 繋ぐなり
- 4 尋ねまほしき ^{そのはら}園原や ^{ねざめのとこ}旅のやどりの 寝覚ノ床
^{かけはし}木曾の 棧 かけし世も ^{くめじばし}心してゆけ 久米路橋
^{つかま}くる人多き 筑摩の湯 ^{おぼすてやま}月の名に立つ 姨捨山
^{みやびお}しるき名所と 風雅士が ^{しいか}誌歌に詠みてぞ ^よ伝えたる
- 5 ^{あさひしょうぐん}旭将軍 ^{よしなか}義仲も ^{にしな}仁科の五郎 ^{のぶもり}信盛も
^{しゅんだい}春台 ^{だざい}太宰先生も ^{そうざん}象山 ^{ぞうざん}佐久間先生も
^{みなこのくに}皆此国の 人にして ^{ぶんぶ}文武の 誉 ^{ほまれ}たぐいなく
^{そび}山と聳えて 世に仰ぎ ^{つぎ}川と流れて 名は尽ず
- 6 ^{あづま}吾妻はやとし ^{やまとたけ}日本武 ^{たま}嘆き給いし ^{うすいやま}碓氷山
^{うが}穿つ隧道 ^{トンネル}二十六 ^{たま}夢にもこゆる 汽車の道
 みち一筋に 学びなば 昔の人にや 劣るべき
^{こらいさんが}古来山河の ^{ひい}秀でたる 国は偉人の ある習い